

フィットネス  
ビジネスの

現場たたき上げ

# お悩み相談

#13 text: Kazuyoshi Endo

マネジャーになるために、実績は必要か



## Profile 遠藤一佳

(株)フィットネスビズ 代表取締役CEO  
大手、ベンチャー等で、トレーナー、企業フィットネス、SV、副支配人、支配人、営業部長、営業本部長、役員を歴任後、2007年6月に独立。2008年度は富士アスレティック&ビジネス専門学校「パーソナルトレーナー学科」で講師を務める。ブログ「勇気の力」、メルマガ「L&M大学」好評執筆中！



URL: <http://www.fitness-biz.net>

### Q 今回のお悩み内容

「現在、チーフトレーナーなのですが、マネジメントに関心がありマネジャーに挑戦したいと思っています。しかし、周囲からは『もっと実績を積んでから』というアドバイスもあり、迷っています」

### A 現場たたき上げの 遠藤からのアドバイス

「何事も実績を積んでからにしない」とはよく言われる助言の1つですね。

実は、私も独立した際、「まずは実績を積むことが大事」とよく言われたものです。しかし、言っている方はそう思わなくても、言われている方はしっかりこないものです。

何故なら、

・「実績」とは具体的に何のことなのでしょう  
か？

・売上を1億円でもあげれば認めてもらえる  
のでしょうか？

・何年間、結果を出せば認めてもらえるので  
しょうか？

つまり、何となく習慣で「実績を！」と言っているだけで、具体性がないケースが多いわけです。第一、独立した際は、とにかく何でもやるしかなく、「実績を積まなきゃ！」などと意識している余裕はありません。

私の印象では「まず実績を！」という方の多くは、年功序列制度の中で、我慢しながら経験を積み重ね、少しずつ出世してきたように思うのです。だから、「一定の経験と実績がないと偉くなつてはいけない」と潜在的に思っているのです。

その結果、同じ能力であるにもかかわらず、経験を重ねているとか、入社年月が長いとか、何となく落ち着いているというような理由で、

中高齢者を起用してしまうのです。このことは組織から活力を奪う大きな要因となります。

私はあなたが挑戦したいのなら、そうすべきだと思います。しかし、何でもかんでも挑戦すればいいとは思っていません。「実績を積み」と言われるということは、あなたにも何か欠けているのでしょうか。だから、「あなたに欠けていること」を確認、明確化し、期限を決めて改善すべきでしょう。

また、これまでチーフ時代はある程度の信頼があったものの、マネジャーになったら求心力を発揮できない人をたくさん見てきました。これは、チーフ時代の信頼が「虚像」に過ぎないわけですが、「真の評価」というのはマネジャーという責任を負って初めてくださるものです。

挑戦するなら、その職務に仕事人生をかけるくらいの気持ちで臨んでください。キャリアアップの一環というような意識ではチームごと沈んでいくことを最後に付け加えておきます。